

キャラクター名  プレイヤー名

メインクラス	ナイト	Lv.1:		レベル	19
サポートクラス	モンク	Lv.1:	ダンサー	性別	女
称号クラス				年齢	17歳
種族	フィルボル			境遇	裏切り
出自 (効果)	秘密結社			目標	逃亡

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	32	23	13	7	9	32	9
ボーナス	10	7	4	2	3	10	3
クラス修正	3	1	2	0	0	2	0
他修正							
能力値	13	8	6	2	3	12	3

HP	231
MP	136
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ティフェレットの槍	至近	-1	27	0	10	10	-6	0
左手	ナイトシールド		0	0	0	15	7	-1	0
頭部									
胴部	城壁の鎧 (全身)				-3	24	5		-4
補助	センチネルガード				-1	6	3		-1
装身具	女神のネックレス						4		
能力値			8	0	6	0	12	9	18
スキル	リムーブ、マジックレジスト、リムーブ、アーマード、魔法ディフェン					10	25		
その他	戦車騎乗、リムーブ+ストメタル、鋼の角					5	2	3	15
総計(右)			7	27					
総計(左)			8	0	2	70	68	5	28
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	1 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	3			3	+ 2 d
トラップ解除	8			8	+ 2 d
危険感知	3			3	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定	12			12	+ 2 d
錬金術判定					+ d

所持品	
ハイHP*	鋼の角
ハイMP*	ビッグウォール
バックパック/ベルトポーチ	[誓いの剣]ウェポンケース
毒消し	グレートHPポーション
ライディングクロップ	グレートMPポーション
ポーションホルダー	ドレスブック
戦車	
ナイフ	転移の呪符
蘇生薬	耐毒符
万能薬*2	
フェーター	

現在重量:	27	所持金:	327	預金・借金:	
最大重量:	59				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
マジックレジスト	★	-	Psv	-	自身	-		
効果: 作成時に魔法防御力+3								
バッシュ	1	4	メジャー	武器	単体	命中		
効果: 武器攻撃を行う。ダメージロールに+[SLd]								
ディフェンダー	5	3	Min	-	自身	-		
効果: 物防+[SL*3],DR-1D,シーン間								
アースステップ	3	5	Mj	-	自身	-		
効果: 物防と魔防+[SL*3],シーン間								
クイックステップ	1	5	StUp	-	自身	-		
効果: ダンサーのメジャー自身スキル使用								
カバームーブ	3	4	カバーリング	-	自身	-	1ｼﾝSL	
効果: 20mのカバーリング								
エンカレッジ	1	6	Ini	-	単体	-	1ｼﾝ1	
効果: 未行動の対象はメソッドで行える								
マジックディフェンダー	1	-	Psv	-	自身	-		
効果: DFの効果をも魔防にも適用								
ダンシングヒーロー	1	-	判定前	-	自身	-	1ｼﾝ1	
効果: 判定+1D								
カリキュレイト	1	-	Ini	-	自身	-	1ｼﾝ1	
効果: メソッドで行える								
アイアンカバー	1	2	カバーリング	-	自身	-	1ｼﾝSL	
効果: 物防魔防+[防具1つの重量]								
アイアンアームド	3	-	Psv	-	自身	-		
効果: 物防+[SL] 魔防+[SL*2]								
アイアンクラッド	3	3	DR後	-	自身	-		
効果: 受ける予定の物理ダメージ-[SL*3]								
ストップガード	2	7	リアクション	-	自身	-		
効果: 自動命中ダメージ-[SL]D								
ファランクスモード	1	-	Psv	-	自身	-		
効果: 全身防具装備中のみ可のスキル使用可能、また装備のクラス制限を無効								

成長点残り: 173(残り)+295  
 買い物:  
 少女の両親は小さな村の神官だった。そう思っていたのだが、本当は違った。両親とはある秘密結社の一員で、神殿本部に対するスパイであったことを知ったのは、神殿の騎士に両親が串刺しにされたのを筆筒の間から目撃した時だった。運が良かったのだろうか。いや、悪かったのか。その後、秘密結社の人間に助けられた少女に、決断の余地はなかった。名前と過去を捨て、惨めな畜生に成り下がった。ただどいつか逃げ出してやる。逃げ出して、どこへ行けばいいのかわからないけれど、絶対に。クーニャと結社に名付けられた少女は、悪意に囲まれながら、それでも背を向ける。本当に、どこへ逃げればいいのか。穿たれた襦は緩む気配もない。



